



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 乾汽船株式会社
 コード番号 9308 URL <http://www.inui.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 康之
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートマネジメント部長 (氏名) 加藤 貴子
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5548-8613

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,739	0.7	122	△14.5	97	—	7	—
2019年3月期第1四半期	5,697	16.9	143	—	△30	—	△134	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △122百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △41百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	0.29	—
2019年3月期第1四半期	△5.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
2020年3月期第1四半期	51,242	38.2	19,561	37.7	786.48	793.14		
2019年3月期	52,391	—	19,727	—	—	—		

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 19,561百万円 2019年3月期 19,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	6.00	—	1.72	7.72
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,899	△4.7	△391	—	△477	—	△55	—	△2.21
通期	22,148	△3.7	△1,013	—	△1,243	—	△809	—	△32.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	26,072,960 株	2019年3月期	26,072,960 株
2020年3月期1Q	1,200,893 株	2019年3月期	1,200,728 株
2020年3月期1Q	24,872,193 株	2019年3月期1Q	24,841,627 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についての注記)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想(2020年3月期の連結業績予想)については、2019年5月14日公表の数値から修正しております。詳細については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、倉庫・運送事業における貨物取扱高の増加等により、売上高は前年同期比42百万円増収(+0.7%)の5,739百万円、営業利益は前年同期比20百万円減益の122百万円、経常利益は前年同期比128百万円改善し97百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比142百万円改善し7百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績は以下の通りであります。

①外航海運事業(ロジスティクス)

外航海運事業におけるスモールハンディ船の市況は、米中貿易摩擦の市況心理への影響等があり、軟調に推移いたしました。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は前年同期比29百万円減収(△0.9%)の3,265百万円、セグメント損益は前年同期比28百万円改善し、306百万円の損失となりました。

②倉庫・運送事業(ロジスティクス)

物流業界におきましては、貨物保管残高は前年同期をやや上回る水準で推移し、貨物取扱量は前年同期と概ね同水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、倉庫事業における既存荷主の貨物取扱高の増加や新規荷主の獲得、連結子会社であるイヌイ運送株式会社の引越し取扱高の増加等により、売上高は前年同期比65百万円増収(+5.2%)の1,313百万円、セグメント利益は前年同期比36百万円増益(+105.3%)の70百万円となりました。

③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は、空室率は低水準で推移しており、賃料水準も小幅な上昇が続いております。また、東京23区の賃貸マンション市況は前年同期をやや下回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、既存賃貸物件の安定した高稼働により、売上高は前年同期比7百万円増収(+0.6%)の1,160百万円となりました。セグメント利益は賃貸物件の保全に伴う修繕費の増加等により前年同期比23百万円減益(△3.6%)の617百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末比1,149百万円減の51,242百万円となりました。負債は営業未払金の減少等により前連結会計年度末比983百万円減の31,680百万円となりました。純資産は、その他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末比165百万円減の19,561百万円となりました。

この結果、自己資本比率は37.7%から38.2%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して713百万円減少し、10,834百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における営業活動の結果として得られた資金は、929百万円となりました。これは主として、非資金損益項目である減価償却費676百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における投資活動の結果として使用した資金は、1,578百万円となりました。これは主として、固定資産の取得による支出等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果として得られた資金は、53百万円となりました。これは主として、長期借入金返済及び調達等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期(2020年3月期)の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2019年5月14日に公表した前回発表予想を修正しております。

詳細につきましては、本日付開示「2020年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、外航海運事業における為替、燃料油価格の予想前提は以下の通りです。

	当連結累計期間実績 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	第2～4四半期前提 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
為替レート(円/1米ドル)	¥111.04	¥108.00
燃料油価格(米ドル/MT)	US\$443.80	US\$595.56

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,783	11,083
営業未収金	1,657	921
繰延及び前払費用	494	411
貯蔵品	847	530
その他	561	918
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	15,343	13,865
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	15,290	14,830
建物及び構築物（純額）	8,769	9,726
土地	1,187	1,187
信託建物及び信託構築物（純額）	4,036	3,993
信託土地	204	204
建設仮勘定	2,843	2,859
その他（純額）	321	340
有形固定資産合計	32,652	33,143
無形固定資産	293	293
投資その他の資産		
投資有価証券	3,520	3,387
退職給付に係る資産	13	—
その他	568	552
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,101	3,939
固定資産合計	37,047	37,376
資産合計	52,391	51,242

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,043	1,054
短期借入金	2,810	2,810
1年内返済予定の長期借入金	1,793	1,769
未払法人税等	82	19
賞与引当金	83	27
用船契約損失引当金	140	116
その他	740	773
流動負債合計	7,694	6,571
固定負債		
長期借入金	20,829	20,836
退職給付に係る負債	67	98
受入保証金	1,427	1,427
長期前受収益	545	545
特別修繕引当金	295	412
用船契約損失引当金	26	1
長期割賦未払金	1,385	1,317
その他	393	469
固定負債合計	24,970	25,109
負債合計	32,664	31,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	11,627	11,627
利益剰余金	5,598	5,563
自己株式	△1,171	△1,171
株主資本合計	18,822	18,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	447	331
繰延ヘッジ損益	16	△1
為替換算調整勘定	440	444
その他の包括利益累計額合計	904	774
純資産合計	19,727	19,561
負債純資産合計	52,391	51,242

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	5,697	5,739
売上原価	5,209	5,257
売上総利益	488	481
販売費及び一般管理費	344	359
営業利益	143	122
営業外収益		
受取配当金	43	46
その他	10	13
営業外収益合計	53	60
営業外費用		
支払利息	75	80
為替差損	145	-
その他	6	5
営業外費用合計	227	85
経常利益又は経常損失(△)	△30	97
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△31	96
法人税、住民税及び事業税	66	4
法人税等調整額	36	84
法人税等合計	102	89
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△134	7
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△134	7

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△134	7
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	△116
繰延ヘッジ損益	19	△17
為替換算調整勘定	23	4
その他の包括利益合計	93	△130
四半期包括利益	△41	△122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41	△122
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△31	96
減価償却費	682	676
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1	31
賞与引当金の増減額(△は減少)	△59	△56
用船契約損失引当金の増減額(△は減少)	△68	△48
受取利息及び受取配当金	△47	△51
支払利息	75	80
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	7	115
為替差損益(△は益)	188	△75
固定資産売却損益(△は益)	-	△0
売上債権の増減額(△は増加)	392	736
繰延及び前払費用の増減額(△は増加)	79	87
貯蔵品の増減額(△は増加)	△144	316
仕入債務の増減額(△は減少)	△190	△647
未払費用の増減額(△は減少)	45	38
預り金の増減額(△は減少)	40	38
未払又は未収消費税等の増減額	5	39
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	0	△0
仮払金の増減額(△は増加)	△110	△347
その他	125	△9
小計	991	1,020
利息及び配当金の受取額	49	56
利息の支払額	△79	△86
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△21	△60
営業活動によるキャッシュ・フロー	940	929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,654	△1,578
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,655	△1,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	575
長期借入金の返済による支出	△417	△440
配当金の支払額	△446	△41
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△39	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△904	53
現金及び現金同等物に係る換算差額	102	△117
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,516	△713
現金及び現金同等物の期首残高	11,360	11,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,843	10,834

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	3,295	1,248	1,153	5,697	—	5,697
セグメント間の売上高又は振替高	—	—	7	7	△7	—
計	3,295	1,248	1,160	5,704	△7	5,697
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△334	34	640	340	△196	143

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△196百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△196百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	3,265	1,313	1,160	5,739	—	5,739
セグメント間の売上高又は振替高	—	—	7	7	△7	—
計	3,265	1,313	1,168	5,747	△7	5,739
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△306	70	617	381	△258	122

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△258百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△258百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。